

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和5年度）

法人名	特定非営利活動法人 ほっとはうす	代表者	立花初美	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における相談窓口として親しんで戴けるような事業所づくりを目指す。 ・地域の方々、民生委員、各分野の関係機関の方々と協働してご利用者の暮らしを支援するケアサービスの実践に努めている。 ・ご利用者やご家族のストレンクス(強み)を引き出す個々のケア対応、満足して戴けるサービスの質の向上に努めている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 笑の里	管理者	中嶋由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	4 人	人	人	人	人	6 人	人	12 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自己学習、課題への取り組みは意識の有無により格差が生じる。意図的に勉強会をして学習を促したり、意欲アップに繋げられるようお互いにフォローしあう。 ・毎月の勉強会を継続する。 ・利用者の民生委員や近隣の協力戴ける方を把握し、連絡をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個人では自己研鑽に努めた者、課題に取り組めた者、私的事情により取り組みに受動的であった者があった。 ・ケア会議や勉強会で問題点や課題を皆で検討し、情報を共有することにより個々のスキルアップにつなげている。 ・独居の利用者が多い。民生委員の方、地域の方々からの情報や協力を戴いている。 ・薬局、配食民間業者等と連携し、ケアに活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙と思うが今後もスキルアップと信じ自己研鑽をお願いします。 ・勉強会の実施により職員のスキルアップに努められている。 ・取り組み方や技術・意識の取得は個人差があると思いますが定期的実施することによりスキルアップのほかモチベーションも上がり事業所の質の向上につながると思いますので継続して取り組んでいただきたい。 ・業務多忙の中、実施していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行う勉強会や外部研修に積極的に参加したり、資格取得のための自己学習を継続してスキルアップに努める。 ・利用者が自宅で暮らしていくためには居住する地域の方々の協力が不可欠であり、大きな力となる。その視点を持ってケア支援を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応や対策を再確認し、引き続き感染予防を徹底する。 ・発症を確認した際は速やかにマニュアルに沿って対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が5類に移行した後も利用者や職員の家族に発症することがあった。また冬季はインフルエンザ感染の流行もあったが、感染症対策を継続し利用者の感染を予防することができた。 ・閉鎖的にならないよう気をつけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も感染症予防には留意して戴きたい。 ・計画やマニュアルは日々の取組から出てきた課題、意見などから見直しをしていただきたい。 ・平素は仕事等で出かけており注意して見られていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の研修、感染症予防の継続を行うとともに、発症を確認した際は速やかにマニュアルに沿って対処する。 ・ご家族や地域の方が気軽に立ち寄り、相談戴ける窓口になるような工夫をする。

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の動向を確認しつつ、参加可能なサロンや行事等に出向く。 ・利用者それぞれの地域の民生委員、近隣の方々と連絡をとり、気軽に相談戴けるよう関係づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・馬淵学区文化祭に作品を出展した。 ・地域の方から提供して戴く農作物を利用日に食事提供し、喜んで戴いている。 ・独居利用者の居住地域の民生委員、近隣の方々と連携し見守り支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症拡大により、途絶えてしまっている様々な関わりを感染状況を気にしながら再開に努めていただきたい。 ・町内では事業所のことは知られていると思います。 ・職員の方々、挨拶を交わしてくださいませ ・地域の行事等にも気遣っていただいています。 ・初めての人にとっては少し敷居が高く感じられるかもしれません。 ・地域行事のアナウンス不足もありますが行事やイベントへの参加はできていないと思われれます。文化祭ではお世話になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加する。 ・利用者それぞれの地域の民生委員、近隣の方々との見守り・協力の関係を維持し、利用者の自宅での暮らしをサポートする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、市の担当課、包括支援センター、民生委員の方々、ご近所の方とご一緒に、その方の生活を見守り、ご支援していきたい。 ・会議再開時には、東部包括支援センターの方の参加を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の認知症による言動で困りごとがあった場合は事業所へ連絡を戴くよう挨拶して回った。 ・個人情報に配慮しつつ地域の方や民生委員の方と情報交換を行った。 ・地域包括支援センターと電話連絡、同行訪問により連携した。 ・9月対面会議の際に包括支援センターの運営推進会議への参加を伝達依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の関係を深めるために運営推進会議で情報共有を図り関係を築いていくことは大切だと思います。 ・今後も宜しくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンや集会に参加し、事業所の活動をお伝えしたり、ご利用いただけるレクリエーション、介護相談など対応できることを試みる。 ・介護相談を戴いたときは、訪問したり、お電話をして適切なサービスの窓口の紹介や支援を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の運営や取組みについてご報告し、ご意見やご要望を戴き、改善、解決、努力が必要であることは速やかに対策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営、利用状況やサービス内容、ヒヤリハット等の報告を行った。 ・書面会議が続いていたが、9月第3回会議より対面で行うこととなり、委員の方から貴重なご意見、ご提案を戴けた。運営に反映していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面会議となるとその場で考えて意見も出やすくなると思います。 ・今後も可能な限り実行して下さい。 ・各々の関係を深めるために運営推進会議で情報共有を図り関係を築いていくことは大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の運営や取組みについてご報告しご意見やご要望を戴き、改善、解決、努力が必要であることは速やかに対策を講じる。(継続) ・包括支援センター、地域で協働している薬局や事業所に出席を依頼し、情報の共有を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会防災訓練に参加する。 ・防災訓練、日常の自主点検を継続する。 ・BCP計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内では通報、避難、初期消火の訓練を行った。 ・避難時の手順、備蓄品について定期的に確認を行った。 ・毎日、自主点検を行った。 ・マニュアルの周知を行った。 ・BCP計画の策定中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災訓練との関わりも必要と思われる。打合せ等を実施されたらと思います。 ・BCP計画を策定し、それに基づく訓練を継続して実施し不測の事態に備えていきましょう。また訓練の中から出てきた課題から計画の見直しを行い、そのサイクルを継続していましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災訓練に参加する。 ・BCP計画の訓練を行い、実際を確認しながら課題を検討し必要に応じて見直しを行い、現実的に活用できる計画にする。

